

AP@PLAT®特集によせて



執行役員
ネットワークアプリケーション本部 本部長

松下 政好

Masayoshi Matsushita

AP@PLAT®コンセプト

近年のブロードバンドの急速な普及とその拡がり、音声のIP化を始めとする通信コスト体系の大幅な変革、さらには携帯電話のブラウザ化、決済端末化等ネットワークに関わるさまざまな技術とその利用形態が大きく変化しています。この変化に伴い、情報社会は情報・通信のインフラを構築する時代から、その上で提供される多様なサービスを利活用する時代へと移り変わりつつあります。また、一方では進化する情報通信の利活用のステージ（度合い）が企業の業績を大きく左右するとも言われております。

そこで、当社は「ネットワークソリューションの沖電気」という企業ビジョンのもとで当社の情報（IT）と通信（IP）それぞれの得意技術を融合したさまざまなソリューションにより、「お客様」や「お客様のお客様」に価値をお届けすることを目的として、情報通信融合ソリューションコンセプト「AP@PLAT®*1）」（エイピープラットフォーム）を確立いたしました（図1）。

当社は、これまで沖電気が培ってきたブロードバンドIPのノウハウをベースに、ITとIPを融合したソリューションをお客様に提供するビジネスを当社の事業の柱として注力しており、当社の強みである情報や通信に関わるハードウェア・ソフトウェア技術を融合し、各種業務アプリケーションを組み合わせることで、お客様のさまざまな課題の解決を支援する一貫したソリューションを提供し、より高いお客様の満足を得ることを目指しております。

AP@PLAT®コンセプトは、グローバルなネットワークをベースに「注力技術」、「コンポーネント」、「IT + IP Solutions」の3つの面において、過去からの経験と知恵、新たなアイデアを結集することにより、お客様のあらゆる活動を高付加価値のものにしてまいりたいという考えのもとに開発されたものです。

お客様の活動を、お客様における、「お客様」との接点にあたる《カスタマー・コンタクト》、社内の効率的業

*1) AP@PLATは沖電気工業(株)の登録商標です。

務支援を行う《アプリケーション・コンタクト》ならびに、パートナー企業との連携を遂行する《パートナー・コンタクト》の3つの切り口、視点から捉え支援してまいります。そしてこれらに対し、当社の提案は、

- お客様、経営環境の変化等への柔軟な対応により、ビジネスの『オポチュニティ』を増大し、
- 「企業」「個」活動のスピードアップによる業務『パフォーマンス』の向上を図り、
- 多様なパートナー連携による新規事業の『クリエイション』のお手伝い、であります。

この3つを実現することで『お客様の新しい価値創造とビジネスの開花』のお役に立ちたいと考えております。

当社は、セキュリティ、サウンド（音声）、ワイヤレス、メカトロニクス（ATMや発券機等）といった「注力技術」、あるいはビデオ配信、VoIP、CTI、情報系のWebサービス、決済といった「コンポーネント」への技術強化、新しい技術によって生まれる新商品開発あるいは、それらをさまざまに組合せたIT+IP Solutionsの創出によるお客様への新たな価値の提供に向けて技術開発、商品創出に取り組んでまいります。

また、ブロードバンドの進展と音声、映像のデジタル化により一つのネットワークの中でデータ・音声・映像の各メディアが統合化（メディアのトリプルプレイ化）され、一つのネットワーク上でさまざまなメディアを利用した情報の交換が、頻繁に行われるようになります。当社では、このメディアのトリプルプレイ化に対してもお客様が安心して安全にご利用戴けるよう、ネットワーク・システム・モニタリングなどのさまざまな面からソリューションをご提供して参ります。

AP@PLAT®の目指すところ

沖電気における情報通信融合の取り組みは、CTIによるコンピュータと電話との接続を実現した1990年代に始まり現在にいたっておりますが、我々はその最初のステージ

OKI

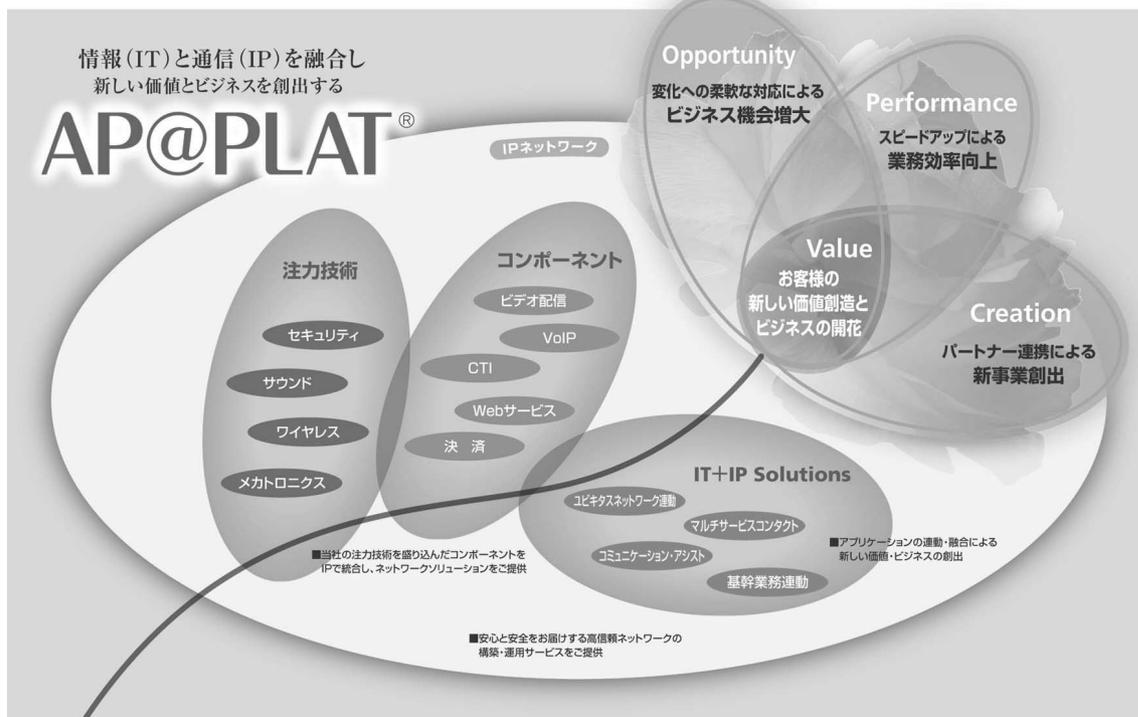
もっと広く、もっと早く、もっと確かに。
ネットワークソリューションの 沖電気

図1 AP@PLAT®コンセプト図

を情報通信融合の『結合ステージ』にとらえ、現在の取り組みは、情報通信融合の『融合ステージ』にあたります。この融合ステージは、音声・映像系アプリケーションと、情報・業務系アプリケーションの連携・融合を特徴としており、企業のワークスタイルの変革、新しい業務サービスの実現を推進しています。

この『融合ステージ』の次に到来するのが『統合ステージ』です。

この『統合ステージ』では、トリプルプレイ化された情報コンテンツと、さまざまな再利用を可能とする部品化された情報系、通信系サービスの連鎖によるサービスが統合した形で提供されます。当社では、

- ①SOA（サービス指向アーキテクチャ）の思想に基づいた、部品化された情報系、通信系のさまざまなサービスの再利用、組合せによる高品質かつ柔軟なソリューションの提供
- ②データ・音声融合によるコミュニケーションから、データ・音声・映像融合によるトリプルプレイ化したコラボレーション環境の提供、更にそれにより生み出されるアドホックなトリプルプレイの知の場を提供す

るコミュニティ環境との連動

- ③ユビキタス環境への適用として、ビジネスコミュニケーター（スマートフォン）、センサーネットワーク連動、あるいはメカトロ（ATM/CP21/KIOSK）との接続など、高品質かつ柔軟なさまざまなソリューションを迅速にお客様へお届けすることによりお客様が直面する「変化」への迅速な対応と「個」への柔軟な対応を支援してまいります。

AP@PLAT®特集

本号のAP@PLAT®特集では、AP@PLAT®コンセプトの考えるアーキテクチャ、コンセプトに基づく情報通信融合プラットフォームならびに、そのプラットフォーム上でさまざまなお客様へ最適な解決策をお届けする最新のソリューションを、事例を交えながら紹介させて戴きます。

なお、弊社のネットワークソリューションへの基本的な取り組みにつきましては、第197号（2004年1月発行）、第198号（2004年4月発行）に特集が組まれておりますので、そちらも併せてご一読戴ければ幸甚でございます。◆◆